

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川 太田川水系 三篠川 災害復旧助成事業に係る詳細設計業務(その4)

事業・工事名

調査目的及び調査対象 河川 構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	広島市安佐北区白木町	北緯	34° 33' 59.4300"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 4月21日～ 令和2年 4月23日	東経	132° 39' 40.9100"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コ	ア	鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 126.38m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 東 90° 西 270° 南 180°
総削孔長	11.00m	度	0°	向	0°
地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 東邦D-1型 エンジン ヤンマーTF-12	ポンプ	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削孔月日		
											深	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深	採取番号					
									表土。細砂主体。φ5mm程度の礫混入する。木根やガラス片が混入する。	4/22 1.92	N	深	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深	採取番号				
1	125.38	1.00	シルト質砂	暗褐	rd1				細砂主体で中砂混じる。シルト分を含有する。		1	1.15	1	400	1	1.15	P-1-1	○	比重含水粒度液性塑性		
2	124.48	1.90	礫混じり砂	暗褐	rd1				中砂主体。φ5~10mm程度の円礫含む。GL-2.6m付近小礫多い。		2	1.58	1	300	2	2.15	P-1-2	○	比重含水粒度		
3	123.58	2.80	礫混じり粘土質砂	茶灰	rd3				河川堆積物。流積マサ状を呈する。全体的に風化による鉱物の粘土化が認められる。φ2~10mmの硬質な礫を含有する。φ50mm程度の風化礫(流紋岩、泥質片岩、花崗岩)を混在する。		11	2.58	3	3	5	11	3.15	P-1-3	○	比重含水粒度液性塑性	4/21
4			泥質片岩	茶灰	rd3						14	3.48	3	4	7	14	3.48	P-1-4	○	比重含水粒度液性塑性	
5			泥質片岩	茶灰	rd3						14	4.15	3	4	7	14	4.15	P-1-4	○	比重含水粒度液性塑性	
6	120.58	5.80	泥質片岩	茶灰	rd3						27	4.48	8	9	10	27	4.48	P-1-5	○	比重含水粒度	
7			泥質片岩	茶灰	rd3						27	5.15	8	9	10	27	5.15	P-1-5	○	比重含水粒度	
8	118.38	8.00	泥質片岩	茶灰	rd3						39	5.48	9	11	19	39	5.48	P-1-6	○	比重含水粒度液性塑性	
9	116.98	9.40	泥質片岩	茶灰	rd3						39	6.15	9	11	19	39	6.15	P-1-6	○	比重含水粒度液性塑性	
10			泥質片岩	茶灰	rd3						42	6.48	8	15	19	42	6.48	P-1-7	○	比重含水粒度液性塑性	4/22
11	115.38	11.00	泥質片岩	茶灰	rd3						42	7.15	8	15	19	42	7.15	P-1-7	○	比重含水粒度液性塑性	
12				暗灰							50以上	7.48	12	26	50	160	7.48			4/23	
13											50以上	8.15	24	26	50	160					
14											50以上	8.31	31	60	160						
											50以上	9.15	12	19	19	50	250				
											50以上	9.40	10	15	19	50	250				
											50以上	10.15	50	50	70						
											50以上	10.22	70	70							
											50以上	11.15	50	50	60						
											50以上	11.21	60	60	80						